

竹野の海岸で目撃されたアサギマダラ

山本 一幸

アサギマダラ *Parantica sita* Kollar は、但馬では7～8月頃に氷ノ山や扇ノ山などといった、比較的標高の高い山地で見つかることの多いチョウである。しかし、稀に海岸部で集団で見られることもある(安達, 1980; 橋本, 1980)。今回、竹野の大浦海岸で何度か目撃されたので、ここにその記録を報告する。

場所: 城崎郡竹野町切浜 大浦海岸。「スノーケルセンター」から西側の一帯。

データ:

1) 1995年5月21日。天候: 雨のち曇り。

10～15分間に3個体を確認。スナビキソウの花に吸蜜に訪れていた。砂浜に落ちていた後翅を1枚拾う。

目撃者: 本庄四郎, 渡部雅之, 宇野政美, 宇野敬子, 筆者。

2) 1995年5月26日。

8個体を確認。吸蜜しているアサギマダラをビデオに記録(本庄, 私信)。

目撃者: 本庄四郎。

3) 1995年5月31日。天候: 晴れ。

約1時間に、多い時で一度に6個体を確認。スノーケルセンターより西側の一帯を飛翔しながら、スナビキソウの花に吸蜜に訪れていた(写真)。

目撃者: 筆者。

4) 1995年6月10日。天候: 晴れ。

日中、4～5個体がスノーケルセンターの周囲で見られた。スナビキソウに吸蜜している個体を手で採集した。

目撃者: 福原陽一郎および筆者ほか、「スノーケルセンター指導員研修会」の参加者多数。

上記以外にも5月下旬から6月上旬の間に、スノーケルセンターの山本雅之・管理人によって頻繁に目撃されており、写真にも記録されている(山本, 私信)。6月17



スナビキソウの花で吸蜜するアサギマダラ

日には見られず、その後何度か大浦海岸を訪れたが見ていない。

アサギマダラが目撃された一帯は、ハマエンドウやハマヒルガオの花も咲いていたが、それらの花での吸蜜は観察できなかった。スナビキソウの花に訪れていることが圧倒的に多く、花の期間とアサギマダラがこの場所に滞在している期間に、何らかの関連があるように思える。

橋本(1980)によれば、1976年5月に竹野町青井から宇日の海岸一帯で、ほぼ1カ月間、アサギマダラが見られ、海岸に打上げられた海草に吸水に訪れていたことが観察されている。1977年以降は目撃例はないとのことであるが、竹野町在住の本庄四郎氏は、1995年以前にも海岸でアサギマダラを目撃したことがあり(私信)、今後注意してみる必要がある。

参考文献

安達留二郎(1980) 但馬(北但) 地方蝶類目録, IRATSUME4:43-50.

橋本陽樹(1980) 海岸にみられたアサギマダラの集団, IRATSUME4:70.